

1台の「思いやり冷蔵庫」から ～食品寄付の活動～

梅田でフードパントリーを立ち上げた親隣館保育園、渡邊理事長は地域公益活動が社会福祉法人の使命だと語る。現在は関原に移転し、活動を続けている。食品を取りに来た方の相談も聞き、おもいやりの心が温かい。

交流会をきっかけに意気投合した主催者らが「フードドライブでいいとも！」を開催し大盛況をおさめた。

場所を提供していただいた足立成和信用金庫本木関原支店長は「人との接点を大事にしています」と話す。様々な企業が賛同し大きな地域の力を感じた。

主催者は、足立区全域にこの活動拠点が広がる願いがあり、第2回開催が待ち遠しい。



足立区いいとも実行委員会など多くの団体※が主催となり協力し、イベントを実施しました。

※この活動の主催は、足立区いいとも実行委員会、(社福)親隣館、(株)AMAO ケア元気、特定非営利活動法人アンドスプーン、(社福)ファミリーです。



中部地区の地域包括支援センターも参加し、ネットワークが広がりました。高齢者や親子連れなど年齢は問わず、寄付に来られた方は35名でした。



家庭で余っている食品をお預かりした後の仕分け作業の様子。多くの寄付に「感謝」です。

取材日 : 令和5年5月21日 参加・協力団体総数 : 59 団体

取材メモ : この寄付活動で集まった協力団体の多さに地域の力強さを感じました。
(足立社協 藤村登美子)

問合せ先 : 地域包括支援センター関原 ☎3889-1487 FAX3887-1407